

## <インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

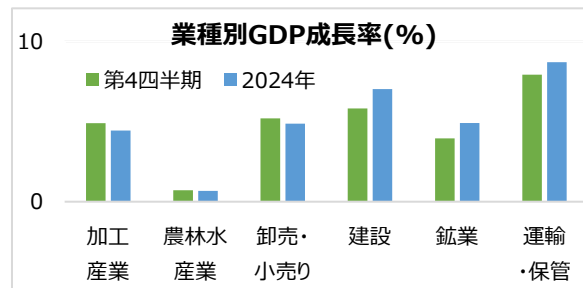
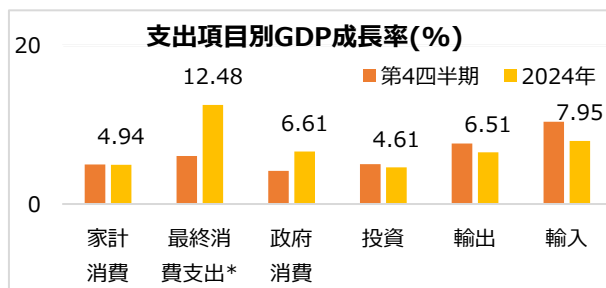
2025 年 2 月 12 日

### インドネシアの 2024 年 GDP 成長率は 5.03%と堅調

中央統計局(BPS)によれば、インドネシアの 2024 年実質国内総生産(GDP)は前年比+5.03%であった。支出(需要)項目別で GDP の半分強を占める家計消費支出が同+4.94%、総固定資本形成が同+4.61%、財・サービスの輸出が同+6.51%。内需、外需ともに堅調で、バランスのとれた成長を示している。



業種別では BPS 分類による 17 業種すべてが成長した。成長率が高かったのは、建設(前年比+7.02%)、運輸・倉庫(同+8.69%)、ホテル・外食(同+8.56%)、観光業を含むその他サービス(同+9.80%)など。



\* 対家計民間非営利団体最終消費支出

出所(3 グラフとも): インドネシア中央統計局(BPS)

今年 1 月、インドネシア中央銀行(BI)は政策金利を 0.25%引き下げ、5.75%とした。この利下げは昨年 9 月以来のもので、インフレ率が安定してきた状況下で国内経済の成長促進に重点を置く、というスタンスを反映したものであった。

2024 年 10 月に就任したプラボウォ大統領は、任期中に GDP 成長率を 8%以上へ引き上げるという野心的な目標を掲げる。製造業基盤の弱さや中間層による購買力低下などの課題も指摘されているが、新政権が進める国内経済の安定化へ向けた取り組みが奏効すれば、1.9 億人を超えると言われる生産年齢人口を誇る同国の成長ポテンシャルは高いといえよう。ダウnstローム(付加価値の高い川下産業)の育成も継続している。2045 年完了を目指している新首都への移転に伴う建設活動も注目点である。なお、主な国際機関による 2025 年の同国の GDP 成長率は 5.0~5.2%と予想されている。BI では、米国の関税政策による影響の可能性を考慮したうえで、4.7~5.5%という予想を先月に表明している。

#### 2025 年のインドネシア GDP 成長率に関する諸機関の予測 (%)

| IMF | OECD | UNCTAD* | 世界銀行 | アジア開発銀行 | BI      |
|-----|------|---------|------|---------|---------|
| 5.1 | 5.2  | 5.2     | 5.1  | 5.0     | 4.7~5.5 |

\*国連貿易開発会議

以上

#### 免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。